

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL(0575)24-7332 FAX(0575)23-5278
会長 森 敬 副会長 川上 勉 幹事 石原 妙生 クラブ会報委員長 後藤 政之

2023~2024 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「親睦から生まれる奉仕の心、

奉仕から広がる友情の輪、そして共に成長し合おう」



世界に希望を生み出そう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2124回例会 2023年12月7日(木)
「年次総会・懇親会」 担当 会長・幹事・親睦活動委員会

前例会の記録 第2123回 2023年11月30日(木)

「東海北陸道グループ I. M. 報告」

／担当 会長・幹事

*国歌「君が代」斉唱

*ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

*4つのテスト唱和

*お客様の紹介

東海北陸道グループ ガバナー補佐 渡邊 剛 様

IM実行委員長 西川 昇 様

*会長あいさつ 森 敬 会長

こんばんは。本日のお客様を紹介致します。東海北陸道グループガバナー補佐 渡邊 剛 様、郡上八幡ロータリークラブ IM実行委員長 西川 昇 様、本日はどうぞ宜しくお願い致します。また、先日のIMでは大変お世話になりました。とても素晴らしいインターシティ・ミーティングで、郡上八幡の文化にも触れる事が出来てとても良かったです。再来年には当クラブもIMを開催することになりますので是非、参考にしたいと思っております。ガバナー補佐様には後程ご挨拶をお願い致します。本日のプログラムがIMの発表となっておりますので、プログラム最



後にIM実行委員長に挨拶を頂きますので宜しくお願い致します。さて、11月度は外での例会ばかりで例会場での通常例会は今月初めてです。外での例会に参加していない会員もおりますので、それについてお話させていただきます。11月5日は森林整備例会がありました。関商工高校インターアクトクラブから11名の参加、NPO法人子援隊様、NPO法人ヘルシーライフせき様からひとり親家庭の親子、引率者、ふどうの森クラブ様、当クラブ会員、総勢80名近くの参加となり盛大に執り行われました。高校生は山の下刈りを体験、児童たちには森の観察、その後、津保川中学校の土屋教頭先生による森の植物・生物の授業を受けました。大変分かりやすく面白い授業で、高校生や児童だけでなく大人の我々も勉強になりました。そして毎年恒例の炊き出しをして、焼きそば・豚汁・焼き芋などを作り、青空の下、皆で食事をしました。とても美味しく頂きました。高校生も親子もみんな笑顔となり本当に良かったです。11月11日は長良川流域連携クリーン作戦がありました。NPO法人長良川環境レンジャー協会の皆様、関市役所環境課の皆様、当クラブ会員が参加し、河川清掃をしました。長良川も年々綺麗になっておりますが、このような事業は継続する事が大切だと思います。来年度も年2回行いますの

で皆様の参加を宜しくお願い致します。11月15日は新米寄贈セレモニーがあり会長、副会長、幹事、社会奉仕委員長、米作りに尽力頂きました小川会員の5名で関市役所へ行きセレモニーを行いました。関市長も農業をやられていますので話が盛り上がりました。11月17日、18日は地区大会があり1日目は私が名古屋の会場に参加、2日目は会員10名で参加しました。RI会長代理が韓国の方で片言の日本語で挨拶されました。そして、韓国のガバナーは日本語で全部話されました。タイのガバナーは英語で話されました。日本語と関弁しか話せない私は凄いなと思いました。しかし、12月の台湾との交流では私も現地の言葉で挨拶したいと思います。11月23日は米作り農業体験事業の食育体験がありました。NPO法人ヘルシーライフ様様が講師となり、食育の授業や調理を指導頂き、ひとり親家庭の親子が自分たちで田植えをして稲刈りをして収穫したお米を使い、五平餅やおにぎりを作り皆で食べました。食事の時には関市長も来て下さり楽しく歓談できました。11月26日は米作り農業体験の集大成。関市役所にて市の職員と、ひとり親家庭へ新米を配布しました。当初、150世帯の予定でしたが好評につき1俵半追加、179世帯に配布しました。新米を笑顔で持ち帰る親子を見て、今回の米作り農業体験を行い本当に良かったと思いました。11月度は本当に忙しく、事業に参加頂いた会員の皆様、ご苦労様でした。12月も年次総会やクリスマス・結婚記念例会などがあります。沢山の会員の皆様に参加をお願いして、本日の挨拶と致します。

*ご挨拶

東海北陸道グループ

ガバナー補佐 渡邊 剛 様

先日のIM地区大会、多数の皆様にご出席頂き誠にありがとうございました。先日、津市で職業奉仕セミナーがあり、職業奉仕についての話を聞いてきました。ロータリーは、社会奉仕と職業奉仕の二大奉仕を掲げております。世界にはたくさんの奉仕団体がありますが、職業奉仕を謳っているのは、ロータリーだけです。私も入会当初は、職業奉仕とは何か理解できませんでしたが、会長エレクトのセミナーで当時の服部パストガバナーのお話を聞き、やっと理解できました。アメリカから日本にロータリーが入って来た時に、We serve を社



会奉仕、I serve を職業奉仕と訳したことが分かりにくくしたのではないかとと言われておりました。We serve は、皆で何かをサービス、提供すること。I serve は、個人で、自分の職業を通じてお客様のために、社会のために貢献するのが職業奉仕であり、それに見合った報酬を得ることであると、と言われておりました。これと真逆のことをしているのが、ニュースで話題のビッグモーターです。津市のセミナーでも、講師の方が、ロータリーの職業奉仕は分かりにくいとおっしゃっていました。では、職業奉仕を何で表すかというのは、四つのテストで十分ではないかとおっしゃってみえました。地区大会の感想は、記念講演に大変感銘を受けました。本日はありがとうございました。

*東海北陸道グループIM報告

川村 紳一 会員

セレモニーでの郡上踊りはもちろんのこと、歌と演奏に大変感動しました。また記念講演では、人生100年近く、私たちはどう向き合うか、また高齢化社会にどう向き合っていくかという話で、当クラブも60歳以上が多く考えさせられるお話でした。



北原 慎 会員

2023年～2024年度 国際ロータリー第2630地区東海北陸道グループIMの報告をさせていただきます。オープニングセレモニーで郡上踊りの映像紹介があり、13時より渡邊ガバナー補佐の点鐘から国歌斉唱、ロータリーソング『奉仕の理想』に続き、郡上八幡ロータリークラブ三原会長の歓迎のあいさつの後、渡邊ガバナー補佐より開会の挨拶がありました。セレモニーで郡上踊りの生演奏、生踊りを見させていただきました。素晴らしい踊りでプロの方が踊るところを初めてしっかりと見させていただきましたが、とても良かったと思います。セレモニーの後、講師の稲垣先生より、『人生100年時代私たちはどう向き合うか』についてお話をいただきました。現在、日本の人口の28.9%は65歳以上の高齢者だそうです。日本全国の平均で我々が暮らす岐阜県の田舎では、もっと高齢者の割合が多いということです。健康寿命を伸ばすという事は幸福感を得て暮らしていくことが1番の秘訣だそうです。具体的に幸福とは、今現在の状況に満足していること、ま



たそれ以上を望んでいないことだそうです。それでは向上心をもつのは幸福とは相反する事かと思ひ少し疑問に思いました。特徴として高齢者ほど楽しかった思い出を振り返るそうです。若者ほど嫌な思い出を振り返るそうです。歳をとるという事はそんなに悪いことではないようです。身近な地域での居場所や役割、友人、仲間とのつながりを持つこと、デジタルデバインド解消に向けた支援等が重要となってくる様々な職業や社会活動への参加の機会が得られるようにする環境を作り生涯にわたる健康づくりを推進するという事でした。この中でデジタルデバインドというキーワードを初めて聞いたので調べてみたところ、情報通信技術、特にインターネットの恩恵を受けることのできない人の間に生じる経済格差という事だそうです。自分はまだ高齢者を 65 歳としたとすると 18 年あります。今の AI 技術などの急速な進歩を考えると 18 年後、自分がついていけているかと不安を感じました。認知症薬の開発が進んでいるとのお話もありました。既に重度な認知症の方には効果が得られず、発症前の患者に限り効果が得られるとのこと。価格が非常に高額で既に導入されているアメリカでは年間に約 390 万円かかるそうです。日本で保険適用になるかはまだ確定されていないとのこと。自費治療となれば一般の人ではなかなか難しい治療だと思います。私の祖父母は他界しておりますが、皆 80 歳後半まで生きました。早くから痴呆症になり病気がちであった祖父、最後まで元気でいた義理の祖母の決定的な差はやはりストレスと食生活にあったと思います。早くから痴呆になってしまった祖父は好き嫌いが激しく菓子パンを好んで食べていました。それに比べて義理の祖母は島根県の田舎暮らし、ストレスなく食生活もしっかりしていたと思います。さらにお酒が好きで、連休に家族で遊びに島根まで行くと早朝から水代わりにビールを飲むような生活をしていました。私からみても両者の幸福度は考えるまでもなく義理の祖母が上で、講演にもありましたが幸福度を得られれば健康寿命も伸びるということですので私自身この先も適度な飲酒と食生活に気を配り健康でストレスのない老後を迎えられるよう準備していこうと思ひました。そして、両親は 70 歳を超え健康でストレスのない生活を送っているとは決して言えません。少しでも支えになれるよう、まずは私自身が彼らのストレスの原因にな

らぬよう心掛けていこうと思ひました講演でした。終了後、総括を篠原一行ガバナーが話され、次期 IM 開催クラブ代表挨拶では各務原ロータリークラブ松井雅史会長が挨拶されました。非常に見た目も実年齢も若い会長でした。堂々かつ分かりやすいご挨拶でびっくりしました。閉会の言葉を西川昇 IM 実行委員長がされて 16 時に渡邊ガバナー補佐の点鐘で閉会となりました。全体の感想として、郡上は盆踊り抜きには語れないという印象とそれを継承していく地元の方々の努力の上で、今も若い踊り手さん達が楽しんでいるのだと感じました。とても良い伝統だと思います。そして良い IM でした。

山本 義樹 会員

郡上市総合文化センターにて開催されました国際ロータリー第 2630 地区東海北陸道グループ インターシティ・ミーティングの内容についてお話をさせていただきます。親睦と研修がテーマの IM ですが、当クラブからは森会長以下 10 名で参加しました。13:00 のオープニングセレモニーは郡上おどりの映像で始まり、踊りはかわさき、はるこま、やっちこ等の映像が 15 分程度流され、その後点鐘でプログラム開催となりました。セレモニー終了後、ユネスコ世界遺産となっています 400 年の歴史を持つ郡上おどりの実演が行われました。お囃子の人々と踊り子が一体となり、会場が素晴らしい雰囲気になっていました。踊りは三百おどり、げんげんばらばらと続きました。その後、講演会が開催されました。



講師 稲垣 麻衣子 様 (岐阜県多治見市生まれ)

慶応義塾大学 法学部 法律学科 卒業

愛知医科大学 医学部学科 卒業

岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センター勤務

現在 慈恵中央病院 認知症疾患医療センター長

講演テーマ

『人生 100 年時代 私たちはどう向きあうか』

サブテーマ

『長寿社会を迎える 家族の関わり方社会のあり方』

人生百年を取り巻く現状として高齢者比率というのがあります。令和 4 年度の統計では 65 歳以上が高齢者とされており、全国の高齢化比率は 28.9%であります。今後この数字はさらに上昇すると言われておりま

す。当クラブは、会員 28 名に対して 65 歳以上メンバーは 16 人で 57%となっております。そして現在メンバーの平均年齢は 66 歳。私は最近耳は聞こえないし、目は見えないと思っていましたら平均より 7 歳オーバーしています。稲垣先生によると長寿となった現代社会では幸せに過ごすこれからの心の在り方についてお話があり、皆さんが身近な地域で友人、仲間とのつながりを持って生活をするのであり、日ごろの取り組みでは、交通ボランティア、農業ボランティア等、地域のため、人のために地域とかかわっていくことが認知機能の低下を抑える方法であり、そして、心の状態を日頃十分満足できる状態が共に健康を継続できると言われています。幸せな晩年を送るためにはお金も必要であり、健康も必要だと思います。しかし、そのような中で心の底に渦巻く漠然とした不安を取り除くことは出来ないと言われています。この難問の答えの 1 つとして、幸せな晩年を迎えるためには、「貢献寿命」が大切であると言われています。生きていることの幸せを感じながら歳を重ねていくためには身体的、金銭的な意味での健康だけでは不十分であり社会と接点を持ち、誰かの役にたっていると感じられる貢献感を得て、この晩年を送ることで貢献寿命としての継続ができるようです。考えてみますと、私共のロータリー活動は貢献寿命の宝庫であり「奉仕の理念」を自らの行動によってロータリー活動を実践していくことは素晴らしいことだと考えます。今後、一層私たちの活動が幅広く進められることを願っております。

*ご挨拶

IM 実行委員長 西川 昇 様

10 月 29 日、郡上八幡 RC がホストを務めさせて頂きました。関中央 RC の皆様には IM にご参加頂きまして、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



*10 月度 IGM 発表

吉田 和也 会員

10 月度 IGM が 10 月 12 日 味のまごろくにて行われました。カウンセラー 山田文夫さん、ロータリー情報委員 山本義樹さん、世話役 石原妙生さん、そして土屋敏幸さん、波多野好文さん、私の 6 名で行われました。波多野好文さん



さんが病気療養中でございますが出席頂き、一緒に会食できたのがうれしかったです。お酒はまだ飲まれませんでした。今後の検診でお医者さんに相談し年末には飲めたらいいと話されてみえました。以前の様に浴びるほど飲めるようになれば良いなと思っております。情報委員 山本さんからテーマを会員増強についてと頂き、現在、会員数の減少による予算不足でクラブの運営も滞ってしまう状況なので、会員数を増やしクラブの運営を安定させるにはどうしたらよいか…ということについて意見交換をしました。その中で、ロータリーの活動をもっと宣伝してロータリーの魅力をアピールし、知名度や公共イメージをアップして入会者を集う。先日行ったオープン例会の場で出席いただいた商工会議所の青年部の方々や上之保の若手の方々にアピールしていくという意見がございました。青年部 OB の影響力のある方に入会して頂き、流れをつくっていくことがクラブ存続のために重要だと思います。また、刃物業界の会員がいない、建設業者で以前は入会してみえたが現在は出ていない、女性社長を誘ってみる等という意見を出し合いながら、まとめとして会員増強を先程の商工会青年部等に対して具体的に進めていくという事で宴もたけなわとなりました。

*出席委員会

会員数 28 名、本日の出席 20 名です。

*委員会報告 広報委員

喜久生会員より、当クラブにデジカメを寄付して頂きました。ありがとうございました。

*ニコボックス委員会

・ガバナー補佐 渡邊 剛 様

本日はよろしくお願ひします。

・IM 実行委員長 西川 昇 様

本日はよろしくお願ひ申し上げます。

・会長、副会長、幹事

本日は渡邊 剛 ガバナー、西川 昇 IM 実行委員長の御来場です。(丁度) 本日のプログラムは I. M. の報告です。報告者の皆さん、御苦勞様ですが、よろしくお願ひします。

22 名のご投函ありがとうございました。

<次例会の案内>

第 2125 回 2023 年 12 月 14 日 (木)

「C. A. 地区大会報告」 担当 会長・幹事